


稲敷市(いなしきし)

 市章 〒 300-0595 〈住所〉 稲敷市犬塚1570番地1 〈TEL〉 029-892-2000 〈FAX〉 029-893-1757 〈HP〉 http://www.city.inashiki.lg.jp 〈e-mail〉 soumu@city.inashiki.lg.jp	地域指定 成田国際空港 過疎	一部事務組合加入事業 退職手当 消防賞じゆつ金 交通共 済 消防災害補償 非常勤公務災 害 市町村会館管理 滞納処分等 し尿 ごみ 建設機械 火葬場・斎場 消防 共同研修 水防	法人番号 4000020082295 公営企業 <small>※令和8年3月31日現在</small> 法適用(上水 工水 公共下水 特定環境下 水 農業集落排水)
	類型 I-O 地方公共 団体コード 082295 面積 205.81 km ²		

<行政組織>

①長等(令和8年5月1日現在)

長	かけひ しんたろう 寛 信太郎 (57歳)	任期	令和8年11月24日
		就任回数	2期目
副市長	中島 明良		

②議会(令和8年5月1日現在)

議長	松戸 千秋	副議長	中沢 仁
任期	令和8年12月21日	条例定数	18人
		現議員数	18人
党派別	公明2人、無所属16人		

③職員数(令和7年4月1日現在) (人)

全職員数	普通会計関係		公営事業 会計関係
	うち一般行政関係		
374	331	235	43
一般行政職の 平均給料月額	3,254 百円	ラスパイレ ス指数 97.7	地域手当 補正後 ラス指数 97.7
全職員数 の推移	令和4年4月1日	令和5年4月1日	令和6年4月1日
	390	386	386

④機構図(令和8年4月1日現在)

<市長> - <副市長> 市長公室 一秘書広聴課、政策企画課、特定事業推進課 総務部 一総務課、財政課、危機管理課 地域振興部一まちづくり推進課、農政課、産業振興課 市民生活部一市民窓口課(東支所)、保険年金課、税務課、 収納課、環境課、廃棄物対策室 保健福祉部一社会福祉課(人権推進室)、生活福祉課、 高齢福祉課(いこいのプラザ)、 こども支援課(こども家庭センター)、 健康増進課 土木管理部一建設課、上下水道課 <会計管理者> - 会計課 <教育委員会> <教育長> - 教育政策課、学務管理課(給食センター)、 指導室(教育センター)、 小・中学校、こども園、幼稚園 生涯学習課(公民館、生涯学習センター、コミュニティセンター)、 スポーツ振興課(運動公園)、 図書館、歴史民俗資料館 <議会> - 議会事務局 <農業委員会> - 農業委員会事務局 <監査委員> - 監査委員事務局
--

<概要>

①沿革

平成17年3月22日 合併 江戸崎町 新利根町 桜川村 東町

②地勢・風土等

稲敷市は、茨城県の南部に位置し、北は霞ヶ浦、東は潮 来市、南は利根川、西は龍ヶ崎市に接している。 本市では、「自然とともに豊かさを実感できるまち」 を稲敷市の将来像として掲げている。
--

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (令和8年4月1日)	
	平成22年	平成27年	令和2年		
人口	男	23,232	21,218	19,490	17,694
	女	23,663	21,592	19,549	17,518
	合計	46,895	42,810	39,039	35,212
世帯数	14,809	14,453	14,552	14,853	

④有権者数(令和8年3月2日現在) ⑤高齢人口割合 (R8.1.1住基人口)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合
	15,569	15,540	31,109	

<産業・経済>

①生産・所得(令和5年度)

市町村内 総生産	1,837 億円	住民所得	1,175 億円
		人口1人当り住民所得	3,185 千円

②産業構造 (百万円・人)

区分	総生産額(令和5年度)	就業人口(令和2年国調)
第1次	8,459 4.6%	1,557 8.6%
第2次	77,672 42.3%	5,960 32.9%
第3次	95,867 52.2%	10,591 58.5%
総額・総数	183,729 -	18,108 -

③農業・工業・商業 (戸・事業所・人・百万円)

農業 (令和2年2月1日)	農家数	主業農家数	農業就業人口
	1,858	300	3,767
製造業 (令和6年6月1日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (R5.1.1~12.31)
	150	4,354	169,059
卸・小売業 (令和4年6月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (R3.1.1~12.31)
	362	2,439	53,627

④特産物

江戸崎かぼちゃ、レンコン、米(ミルクークイーン)、ブロッコリー、ネギ、霞ヶ浦水産加工品

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	令和5年度決算	令和6年度決算	増減率
歳入	23,288,258	24,602,224	5.6
歳出	22,078,104	23,701,345	7.4
形式収支	1,210,154	900,879	-
実質収支	891,425	762,628	-
単年度収支	△ 41,571	△ 128,797	-
実質単年度収支	△ 35,350	△ 121,698	-

②主な歳入・歳出(令和6年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	24,602	-	1,314	5.6
地方税	5,199	21.1	△ 127	△ 2.4
地方交付税	6,817	27.7	97	1.4
国庫支出金	3,014	12.3	246	8.9
地方債	2,110	8.6	804	61.6
うち臨財債	44	0.2	△ 50	△ 53.2
その他	7,462	30.3	294	4.1
うち繰入金	448	1.8	△ 371	△ 45.3
歳出	23,701	-	1,623	7.4
義務的経費	9,051	38.2	△ 1	△ 0.01
人件費	3,411	14.4	174	5.4
扶助費	3,309	14.0	△ 140	△ 4.1
公債費	2,331	9.8	△ 35	△ 1.5
投資的経費	2,375	10.0	267	12.7
普通建設事業費	2,375	10.0	267	12.7
うち補助	789	3.3	453	134.8
うち単独	1,576	6.6	△ 184	△ 10.5
その他の経費	12,275	51.8	1,357	12.4
うち繰出金	1,753	7.4	△ 166	△ 8.7

③主要指標(令和6年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (12.89)
連結実質赤字比率	- % (17.89)
実質公債費比率	8.5 % (25.0) [6.7]
将来負担比率	- % (350.0) [27.8]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(令和7年度)	0.468	[0.666]
経常収支比率	90.8 %	[93.0]
標準財政規模(令和7年度)	14,073 百万円	[17,283]
地方債現在高(A)	22,955 百万円	[25,031]
債務負担行為支出予定額(B)	2,032 百万円	[5,771]
積立金現在高(C)	12,973 百万円	[7,792]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	12,014 百万円	[23,010]

※1 ()は早期健全化基準、[]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(令和6年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	1,671,802 (30.8)	1,608,166 (30.9)	96.2 [97.0]
市町村民税・法人 (構成比)	420,398 (7.7)	416,388 (8.0)	99.0 [98.8]
固定資産税 (構成比)	2,762,571 (50.9)	2,612,917 (50.3)	94.6 [97.4]
市町村税合計 (国保除く)	5,427,378	5,199,002	95.8 [97.4]

<公共施設整備状況>(令和6年度)

※1は令和7年度
道路改良率・舗装率は令和5年度

小学校 ※1	8 校	体育館	3 か所
中学校 ※1	4 校	プール	0 か所
義務教育学校 ※1	0 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	1 園	老人福祉施設	29 か所
保育所 ※1	2 か所	病院・一般診療所	18 か所
認定こども園 ※1	3 園	道路改良率	54.7 %
図書館	1 か所	道路舗装率	60.6 %
公営住宅	219 戸	上水道等普及率	73.5 %
公民館等	4 か所	汚水処理普及率	80.4 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算 事業費
未来を担う子どもを育む教育・保育環境の向上	R8 ~	認定こども園の改築・改修工事で、安心・安全な保育基盤を強化。快適な環境のもと、質の高い幼児教育・保育を提供する体制を整備します。	196 (R8)
市の魅力を届けるPR戦略	R8 ~	著名人を起用した情報発信やラジオによるPRで市の魅力を発信。認知度を高め、観光・産業の振興とブランド強化につなげます。	25 (R8)
多様なニーズに対応する交通インフラの整備	R8 ~	人口減少や利用者ニーズの多様化に対応し、効率的かつ利便性の高い地域公共交通を確保するため、AIオンデマンド交通を導入します。	77 (R8)
教育環境の改善と災害に備える避難所の機能強化	R8 ~	近年の猛暑から児童生徒を守り快適な教育環境を確保するため、小学校に空調を整備します。災害時の避難所環境も向上させ、地域の防災機能を強化します。	582 (R8)

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>

- ・人口減少、少子化、若者流出対策
- ・地域公共交通の確保、交通空白地の解消
- ・圏央道を活用した産業の活性化
- ・公共施設(行政施設、教育施設)の統廃合、適正配置

<特色ある行政>

- ・成田国際空港との共存共栄のまちづくりの推進
- ・行政、市民、企業等の連携・協力による「協働のまちづくり」の推進
- ・市民の生活の質の向上を目指す活動の拠点化・複合化の推進
- ・各地区の公民館を拠点とした市民主体の地域づくりの推進
- ・稲敷市産の食材を使った特産品の開発
- ・小中学校入学、中学校卒業を控えた子どもへの商品券交付